

報道関係者各位

2021.9
嵯峨嵐山文華館

嵯峨嵐山文華館 2022年企画展スケジュールのお知らせ

嵯峨嵐山文華館は、2021年秋より2022年の始めにかけて、福田美術館との共催で「木島櫻谷 ～究めて魅せた『おうこくさん』」を、続いて競技かるた大会に合わせ「絵でみる百人一首と枕草子」を開催いたします。春から夏は、前年度コロナの影響によって2日間しか開催できなかった企画展「花ごよみ ～横山大観、菱田春草らが咲きほこる」を再構成の上展示し、夏休みの時期は動物の絵を集めた「どうぶつ美術館」を予定しております。今年も文華館ならではのラインナップに、どうぞご期待ください。

| 嵯峨嵐山文華館 企画展スケジュール |

| | |
|----------------------|-------------------------------------|
| 2021.10.23～2022.1.10 | 木島櫻谷 ～究めて魅せた「おうこくさん」 福田美術館二館共同開催 |
| 2022.1.29～4.10 | 絵でみる百人一首と枕草子 |
| 2022.4.23～7.3 | 花ごよみ –横山大観、菱田春草らが咲きほこる |
| 2022.7.16～10.10 | どうぶつ美術館 |
| 2022.10.22～2023.1.9 | 芭蕉と蕪村（仮） |

嵯峨嵐山文華館広報事務局（ウインダム内）

TEL：03-6661-9448 FAX 03-3664-3833

Email：嵯峨嵐山文華館広報事務局 samac@windam.co.jp

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-9-4F

「嵯峨嵐山文華館」広報事務局

担当：沼澤、多田

嵯峨嵐山文華館
Saga Arashiyama Museum of Arts and Culture

2021.10.23～2022.1.10

木島櫻谷 ～究めて魅せた「おうこくさん」

京都で生まれた近代の京都画壇を代表する巨匠・木島櫻谷。動物画を中心に、近年日本画ファンの枠を超えてじわじわと人気が出てきている作家ですが、本展では福田美術館と嵯峨嵐山文華館の二館にわたって、存分にその魅力をお伝え致します。

(プレスリリース↓)

[https://fukuda-art-museum.jp/wp/wp-](https://fukuda-art-museum.jp/wp/wp-content/uploads/2021/08/20210802_%E6%9C%A8%E5%B3%B6%E6%AB%BB%E8%B0%B7%E5%B1%95_PR.pdf)

[content/uploads/2021/08/20210802_%E6%9C%A8%E5%B3%B6%E6%AB%BB%E8%B0%B7%E5%B1%95_PR.pdf](https://fukuda-art-museum.jp/wp/wp-content/uploads/2021/08/20210802_%E6%9C%A8%E5%B3%B6%E6%AB%BB%E8%B0%B7%E5%B1%95_PR.pdf)



2022.1.29～4.10

絵でみる百人一首と枕草子

「第3回 ちはやふる小倉山杯」の開催を記念して、百人一首にまつわる展覧会を開催。畳ギャラリーでは、歌人の1人である清少納言に因んで、まるで枕草子に出てくる情景を描いたかのような日本画を展示いたします。



2022.4.23~7.3

花ごよみ

—横山大観・菱田春草らが咲き誇る

コロナ感染拡大のため、やむなく開催2日で中止となった「花ごよみ」展。本展では横山大観、菱田春草、速水御舟などの近代日本画家の巨匠達による花々や季節を描いた作品のラインナップをさらに充実させ、再構成したものを展示いたします。



2022.7.16~10.10

どうぶつ美術館

夏休みの時期にあたる企画展は、日本画で描かれたどうぶつが大集合。文華館らしく動物のトリビアなどもまじえながら、様々な生き物の絵画を展示いたします。

※右の作品例は変更する可能性があります。



2022.10.22~2023.1.9

芭蕉と蕪村（仮）

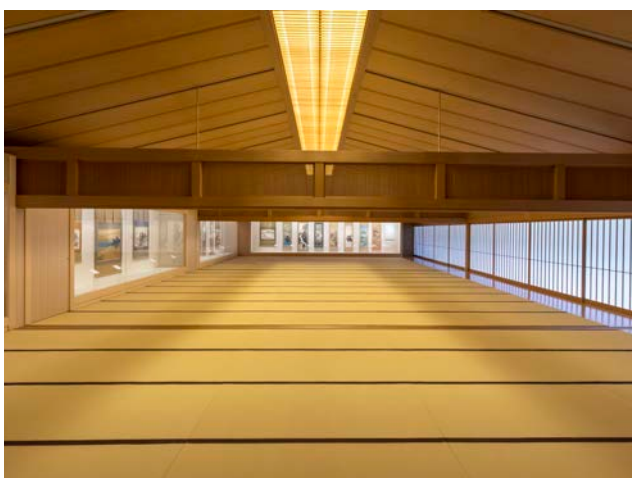
言わずと知れた俳諧の確立者、松尾芭蕉。芭蕉が没して22年後、与謝蕪村は生まれました。蕪村は画技を磨きながら「奥の細道」を体験するほどに芭蕉への憧れがあったとされます。本展では芭蕉から受け継がれた精神が蕪村の画業にどのように影響し、現れているかを探ります。



嵯峨嵐山文華館について

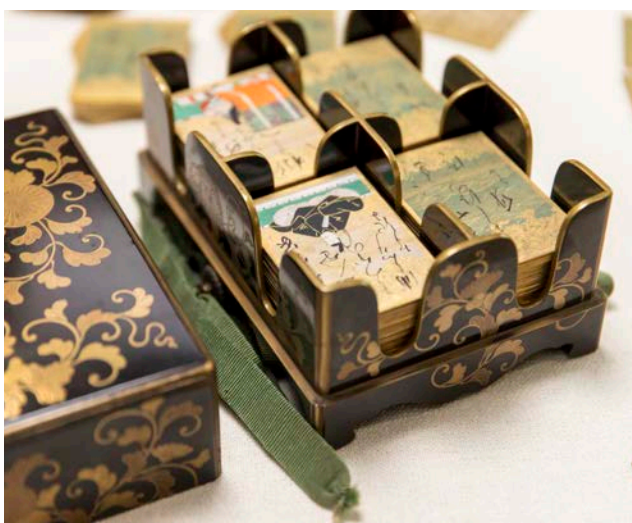
百人一首の歴史と日本画の粋を伝えるミュージアム

1000年以上も前から歌枕として詠まれ、愛されてきた嵯峨嵐山の風景。当館はこの地で誕生したと伝えられる百人一首の歴史やその魅力と、日本画の粋を伝えるミュージアムです。石段を上がり、冠木門をくぐって足を踏み入ると、春はしだれ桜、初夏はサツキツツジ、秋は紅葉、冬は冠雪と、四季の美しさを楽しめる石庭。百人一首ゆかりの小倉山を背にし、大堰川を借景として取り込む二階からの眺めは、まさに日本画の世界のようです。



1F常設展示では100体の歌仙人形（フィギュア）と英訳が並び、藤原定家によって百人一首が選ばれた時から昨今人気の競技かるたに至るまでの変遷をご紹介します。

また2Fには120畳の広々とした畳ギャラリーは、じっくり座って自由に鑑賞することも可能。石庭を望む明るいテラスにはカフェスペースが設けられており、景色を楽しみながらお寛ろぎいただけます。



嵯峨嵐山文華館概要

- 名称：嵯峨嵐山文華館／Saga Arashiyama Museum of Arts and Culture
- 住所：〒616-8385 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町11
- 電話番号：075-882-1111 (FAX) 075-882-1103
- メールアドレス：support@samac.jp
- ホームページ：<http://www.samac.jp>



- 運営：公益財団法人小倉百人一首文化財団
- 交通アクセス：
 - ・JR山陰本線「嵯峨嵐山」駅下車、徒歩14分
 - ・阪急嵐山線「嵐山」駅下車、徒歩13分
 - ・嵐電（京福電鉄）「嵐山」駅下車、徒歩5分
- 設立：
 - 2006年 「百人一首殿堂 時雨殿」として設立
 - 2011年 一時休館
 - 2012年 リニューアルオープン
 - 2017年 一時休館
 - 2018年 11月1日 「嵯峨嵐山文華館」としてリニューアルオープン

- 休館 毎週火曜日・展示替期間・年末年始（12/30～1/1）
- 料金 < 嵯峨嵐山文華館 >
 - 一般・大学生 ¥900(800)/高校生 ¥500(400)/小中学/¥300(250)
 - 障がい者と介添人1名まで 各¥500(400)< 福田美術館との二館共通券 >
 - 一般・大学生 ¥2,000/高校生 ¥1,000/小中学生 ¥550
 - 障がい者と介添人1名まで 各¥1,000

広報：中島真帆